



2022年9月期決算 補足説明資料

2022年11月30日



1

2022年9月期決算実績



2022年9月期経営成績①

- 増収増益を達成。新增改築案件、特に大規模案件の増加を背景に、主力のメディカルトータルソリューション事業は堅調に推移
対照的に、遠隔画像診断サービス事業は採算低下に直面、給食事業は大口顧客解約の影響が継続
- 従来見通しに対しては、売上で超過達成となるも、利益的には若干の未達で着地。ほぼ想定の範囲内の決算と認識

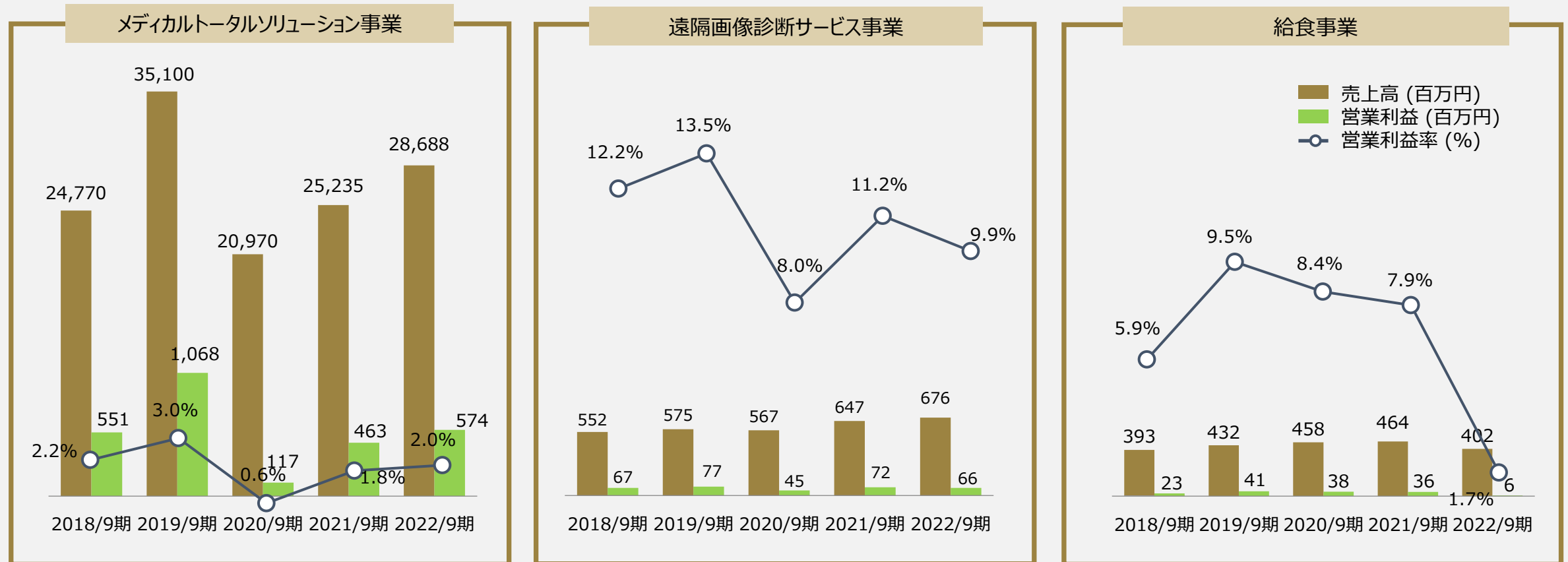
経営成績の推移

(百万円)	2020/9期 実績	2021/9期 実績	2022/9期		比較		
			期初見通し	実績	前年比 増減率	前年比 差異	期初見通し 差異
売上高	21,996	26,347	27,759	29,767	+13.0%	+3,420	+2,008
メディカルトータルソリューション	20,970	25,235	26,694	28,688	+13.7%	+3,452	+1,994
遠隔画像診断サービス	567	647	645	676	+4.5%	+29	+31
給食	458	464	420	402	▲13.3%	▲61	▲17
営業利益	204	576	750	650	+13.0%	+74	▲99
メディカルトータルソリューション	117	463	666	574	+23.8%	+110	▲91
遠隔画像診断サービス	45	72	74	66	▲7.9%	▲5	▲7
給食	38	36	10	6	▲81.2%	▲29	▲2
調整	3	3	-	2	▲4.7%	▲0	+2
経常利益	207	595	800	709	+19.1%	+113	▲90
親会社株主に帰属する当期純利益	120	390	520	437	+11.8%	+46	▲82

セグメント別業績推移

- 主力のメディカルトータルソリューション事業は順調に業績拡大。営業利益率の改善も進捗
- 遠隔画像診断サービス事業は売上堅調なもの、読影委託費の上昇などを背景に、営業利益率はじりじり低下
- 給食事業は大口顧客解約に加え、物流費・食材費の値上げ相次ぎ、売上、採算ともに大きく調整

経営成績の推移





2022年9月期経営成績②

- 4Qは対前年比、対3Q比いずれも減収減益。当期は期前半に案件が集中したため、4Qは端境期といった位置づけとなり営業赤字
- ただし、案件により四半期で売上高が大きく影響を受けてしまうのは狩猟型ビジネスモデルの宿命。特にネガティブに捉える必要はなし
- 同時に、4Qより給食事業がボトムアウト。大口顧客解約の影響はようやく一巡

経営成績の推移

(百万円)	2021/9期				2022/9期				前年比 差異
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
売上高	7,971	8,907	4,593	4,875	10,678	8,078	6,438	4,571	▲303
メディカルトータルソリューション	7,691	8,624	4,321	4,598	10,404	7,821	6,169	4,293	▲304
遠隔画像診断サービス	162	164	155	164	172	159	171	173	+8
給食	117	118	116	112	100	98	98	105	▲7
営業利益	405	445	▲64	▲209	529	241	114	▲235	▲25
メディカルトータルソリューション	370	410	▲89	▲228	499	226	97	▲247	▲19
遠隔画像診断サービス	23	21	16	10	26	14	15	10	▲0
給食	9	12	7	6	2	1	1	1	▲5
調整	0	0	0	0	0	0	0	0	▲0

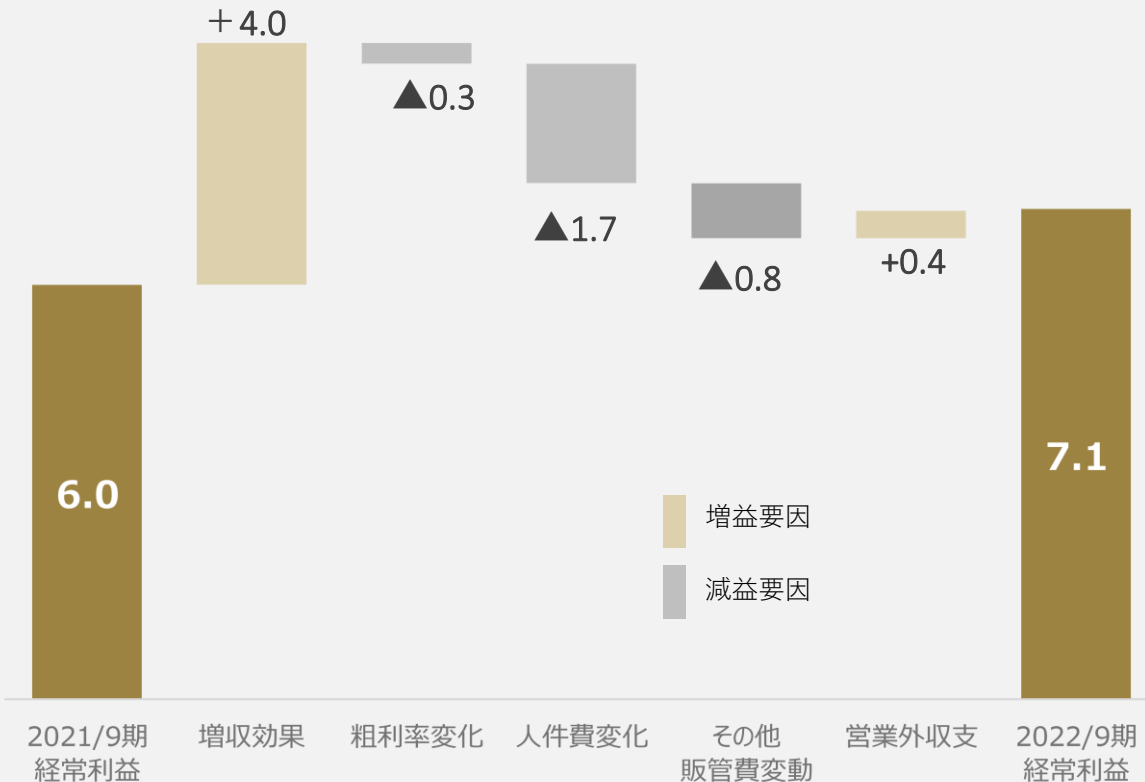


2022年9月期 経常利益増減益要因分析

- 当期経常増益の牽引役は売上増。人材拡充に伴う人件費増や営業活動活発化による交通費/交際費増といったマイナス要因を吸収
- なお、粗利率も前年比較では若干低下。ただしこれは期前半に戦略的意図から取得した一部低採算案件の影響に拠るもの。そういった特殊要因を除けば、粗利率はむしろ改善傾向で推移したと認識

経常利益増減益分析

(億円)



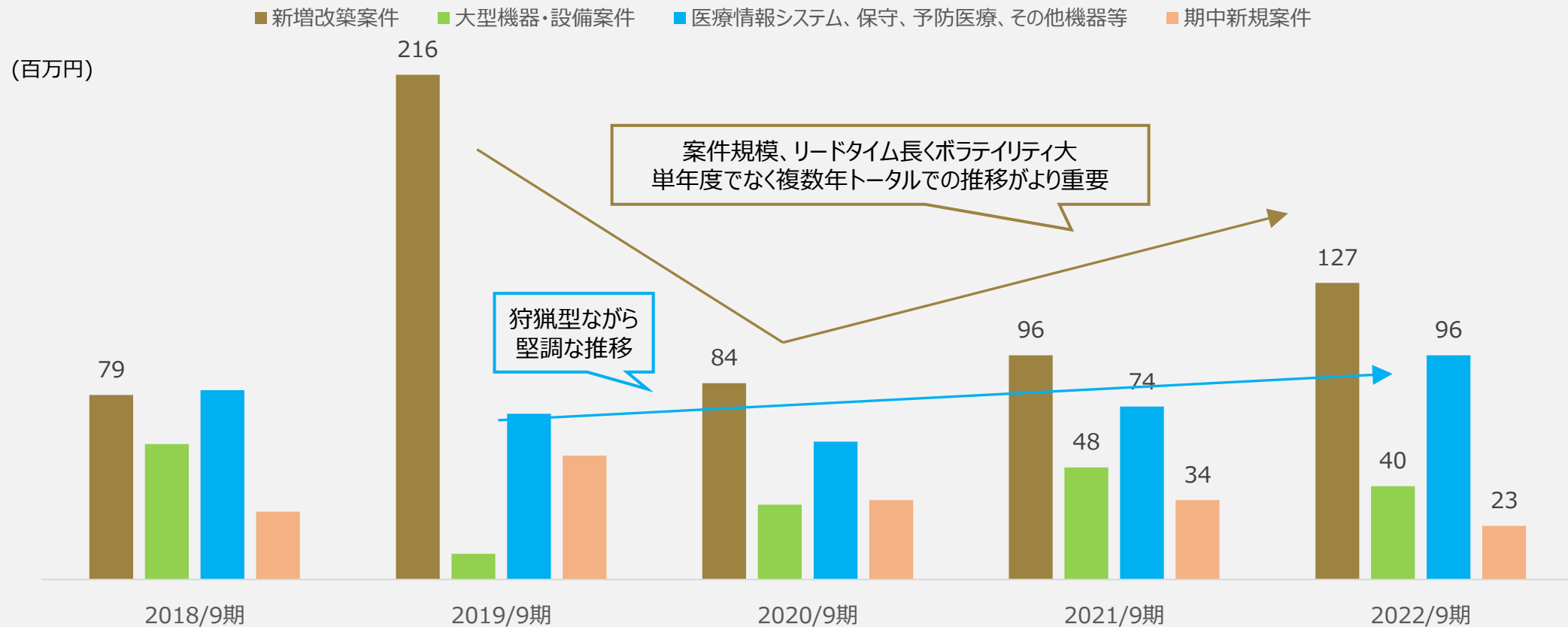
- 増収効果 +4.0億円
 - ・メディカルトータルソリューション事業において新增改築案件が増加
 - ・特に、20億円以上の大型案件が増加し、案件当たりの平均単価は前年度のおよそ2倍に上昇
- 粗利率変化 ▲0.3億円
 - ・戦略的意図による一部低採算案件が影響
 - ・上記特殊案件を除けば、粗利率はむしろ改善基調で推移
- その他販管費変動 ▲0.8億円
 - ・地代家賃増 ▲0.3億円
 - ・交際費/交通費 ▲0.3億円



メディカルトータルソリューション事業売上内訳推移

- 主力のメディカルトータルソリューション事業では、狩猟型ビジネスの中心を成す新增改築案件の売上が3期連続で順調に拡大。ただし、受注から納品までのリードタイムを考えれば、経験的に狩猟型ビジネスは概ね3年周期の傾向強く、早晚調整の可能性は否めず
- 一方、システム・保守・予防医療などの領域は狩猟型ながら堅調に推移。こちらは人員充当でビジネス獲得機会の拡大も可能な領域。今後の中期成長ではより重要な位置づけを担うと認識

メディカルトータルソリューション事業売上内訳





2022年9月期貸借対照表

- 総資産は若干拡大。ただしこれは、一部大型案件に係る高額装置の前渡金勘定拡大に伴うものであり、一時的変化と認識
- 前渡金の拡大は、貸方サイドでは前受金の拡大が対応。ほぼ両建てで計上されている
- 期末の自己資本比率は40.0%。実質無借金経営であり、期末のネットキャッシュは54億円

財政状態の推移

(百万円)	2020/9期	2021/9期	2022/9期	前期末比差異
流動資産	12,198	11,755	12,232	+477
現預金	4,450	5,408	5,480	+71
受取手形・売掛金/契約資産	6,652	4,820	4,360	▲460
棚卸資産	60	188	24	▲164
その他	1,034	1,337	2,368	+1,030
貸倒引当金	▲0	▲0	▲0	▲0
固定資産	1,215	1,209	1,235	+26
総資産	13,414	12,964	13,468	+503
負債	8,596	7,805	7,930	+125
買掛金	6,282	4,890	3,960	▲929
有利子負債	338	127	92	▲34
その他	1,975	2,788	3,876	+1,088
純資産	4,817	5,159	5,537	+378
負債純資産合計	13,414	12,964	13,468	+503



2022年9月期キャッシュフロー

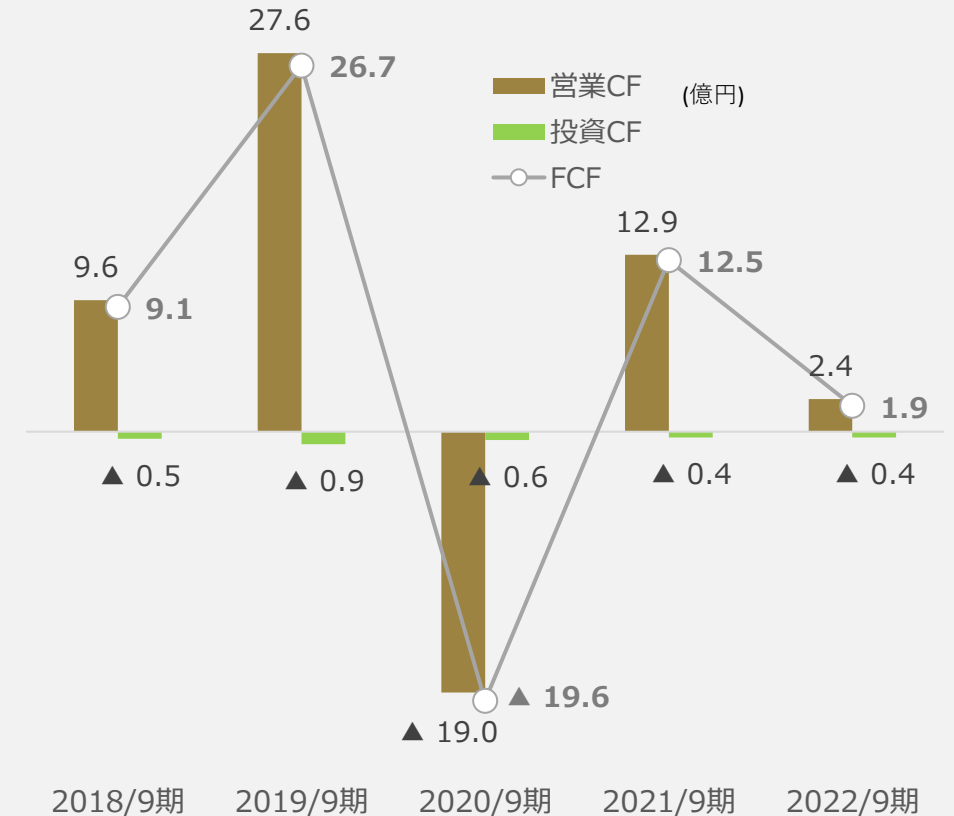
- 営業CFは対前期で大きく減少。税前当期純利益は拡大となったものの、債権債務関連の運転資金負担が拡大。一方、投資CFはほぼ例年通り。結果として、FCFは黒字維持ながらも前期比ではかなり圧縮
- 運転資金の変動は比較的大きいが、これはメディカルトータルソリューション事業の抱える案件規模の影響を受けるもの。大規模案件を積極的に取り扱えるだけの堅実な財務状況は、成長への前提条件との位置づけ

キャッシュ・フローの状況の推移

(百万円)	2020/9期	2021/9期	2022/9期
営業CF	▲1,906	1,298	242
税前当期純利益	207	594	689
売上債権/仕入債務増減	▲1,508	439	▲469
その他	▲605	263	22
投資CF	▲63	▲42	▲49
FCF*	▲1,969	1,255	192
財務CF	238	▲298	▲120
有利子負債の純増減	▲95	▲210	▲34
株式の発行による収入	399	—	—
その他	▲65	▲87	▲86

* FCF=営業CF+投資CF で算出

キャッシュフローの推移





2

2023年9月期決算見通し



2023年9月期業績見通し

- 2023/9期は3期ぶりの減収減益を想定。受注端境期を迎え、主力のメディカルトータルソリューション事業が調整局面となる見通し
- ただし、前回の調整局面（2020/9期）との比較では、高い収益水準を維持すると想定。メディカルトータルソリューション事業において、狩猟型ながらストック的色彩の濃いビジネスを着実に積み上げてきた成果と位置付ける

経営成績の推移

(百万円)	2020/9期 実績	2021/9期 実績	2022/9期 実績	2023/9期 見通し	比較	
					前年比 増減率	前年比 差異
売上高	21,996	26,347	29,767	25,000	▲16.0%	▲4,767
メディカルトータルソリューション	20,970	25,235	28,688	24,000	▲16.3%	▲4,688
遠隔画像診断サービス	567	647	676	600	▲11.2%	▲76
給食	458	464	402	400	▲0.5%	▲2
営業利益	204	576	650	550	▲15.5%	▲100
メディカルトータルソリューション	117	463	574	480	▲16.3%	▲94
遠隔画像診断サービス	45	72	66	60	▲9.0%	▲6
給食	38	36	6	10	+66.6%	+4
調整	3	3	2	0	-	+8
経常利益	207	595	709	550	▲22.5%	▲159
親会社株主に帰属する当期純利益	120	390	437	360	▲17.6%	▲77

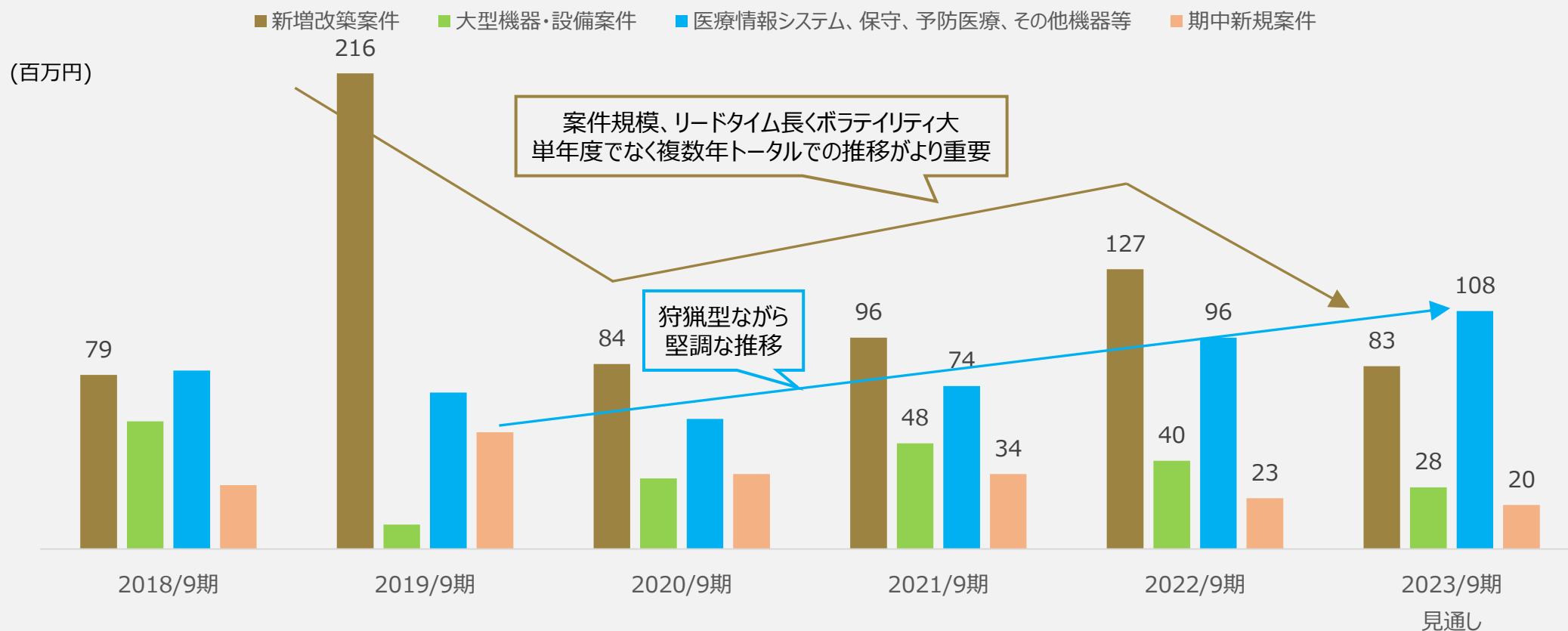
前回調整
局面



メディカルトータルソリューション事業売上内訳推移

- 主力のメディカルトータルソリューション事業では、3年周期にある新增改築案件の売上が端境期を迎える見通し。売上対象はちょうどコロナ禍局面で受注案件が中心。周期的な端境期という観点に加え、営業制約を受ける中、受注そのものも低水準で推移
- 一方、医療情報システム/保守/予防医療などIT展開イニシアティブを担う領域はストック型の特性を発揮し、順調に拡大を想定。一時的ながら、メディカルトータルソリューション事業で初めてこの領域の売上が最大になると予想

メディカルトータルソリューション事業売上内訳





2023年9月期通期業績予想前提

- 2023/9期の新增改築案件数は17件を想定。前期比5件の増加を見込む
- ただし、その内訳は10億円未満の中小規模案件がその主体となる見通し。20億円以上の大型案件は1件にとどまり、案件当たり単価は63%の下落を想定。前4Qから始まった案件端境期は、当期いっぱい継続するとの保守的な前提を置く

メディカルトータルソリューション事業における病院新增改築案件向け医療機器一括販売の推移

(百万円)		2020/9期	2021/9期	2022/9期	2023/9期 見通し	前期対比
20億円以上	売上高	2,562	4,739	9,877	2,271	▲7,606
	件数	1	2	3	1	▲2
	平均単価	2,562	2,369	3,292	2,272	▲1,021
10億円以上	売上高	2,954	1,476	3,995	2,080	▲1,916
	件数	2	1	3	2	▲1
	平均単価	1,477	1,476	1,332	1,040	▲292
10億円未満	売上高	2,928	3,395	2,180	4,007	+1,827
	件数	10	11	6	14	+8
	平均単価	292	308	363	286	▲77
合計	売上高	8,445	9,611	16,054	8,359	▲7,694
	件数	13	14	12	17	+5
	平均単価	650	686	1,338	492	▲846
事業売上に占める一括販売比率		40.3%	38.1%	56.0%	34.9%	▲21.9pt

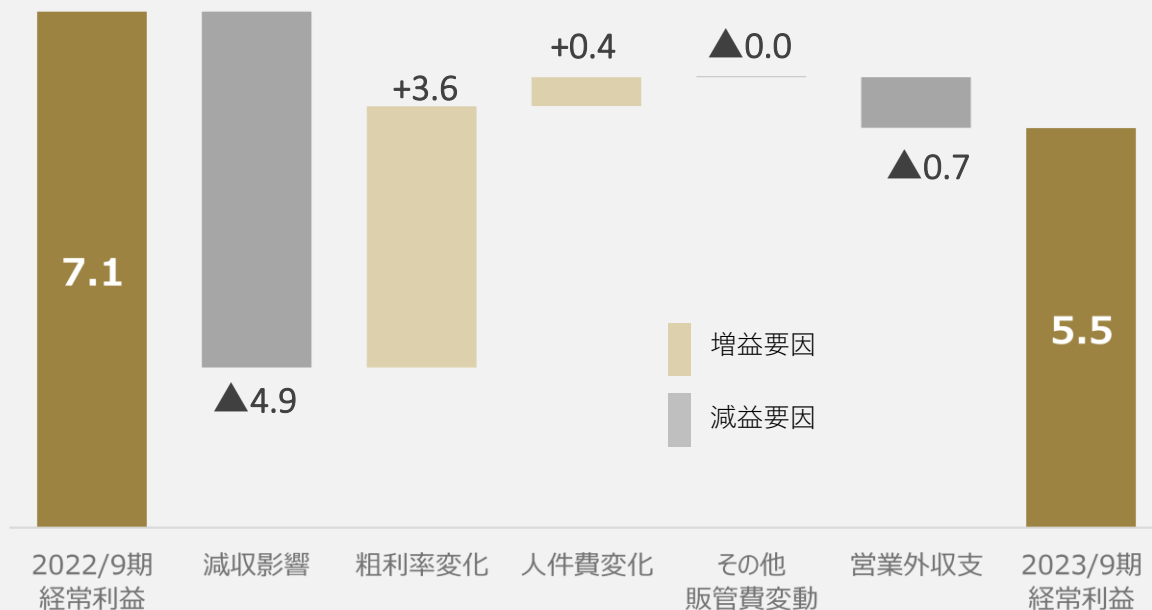


2023年9月期想定増減益分析

- 減益となる主たる要因は、受注端境期による売上の減少。深掘営業の追求によって粗利率の改善などはプラス要因として寄与するものの、マイナス要因の吸収には至らない見通し
- コスト面では従業員数の増加はあるものの、業績連動賞与は保守的に織り込み、人件費トータルでは若干の減少を想定。一方、営業外収支では前期に雑収入に計上した保険解約返戻金は発生しない見通し

経常利益増減益分析

(億円)



- 減収影響 ▲4.9億円
 - ・メディカルトータルソリューション事業の減収が影響
 - ・ただし、ストック的ビジネスの積上げは着実に伸長
- 粗利率変化 +3.6億円
 - ・前期にあった戦略的意図による一部低採算案件の影響が消失
 - ・深掘営業追求に伴う付加価値増を想定
 - ・ストック的ビジネス増による構成変化
- 営業外収支変動 ▲0.7億円
 - ・保険料収入 ▲0.5億円



配当方針

- 2022/9期は前期比10円増配の年50円配を予定。配当性向は22.4%と、目途とする配当性向20%程度を維持する見込み
- 2023/9期は、現業績見通しを前提に、配当据置きを計画。配当性向は27%まで上昇するが、安定配当という原則を重視

<1株当たり情報の推移>

(円)	2020/9期	2021/9期	2022/9期 予定	2023/9期	
				計画	前期比差異
1株当たり当期純利益	62.51	199.92	222.90	183.61	▲39.29
1株当たり配当金	記念配5円増配 45.00	40.00	50.00	50.00	±0.00
配当性向	受注端境期により一時的に上昇 72.0%	20.0%	22.4%	27.2%	+4.8pt

- (注) 1. 配当性向は、1株当たり配当額/1株当たり当期純利益で算出しております。
2. 2020/9期は、普通配当40円に加え、上場記念配当5円を増配し、1株当たり45円の配当となっております。



3

中期成長シナリオ



中期成長の狙い

これまで：「狩猟型」ビジネスを追求

利点： 創造的で野心的な企業風土の醸成
高利益率の追求

弱点： 狩猟型の宿命としてボラティリティが不可避

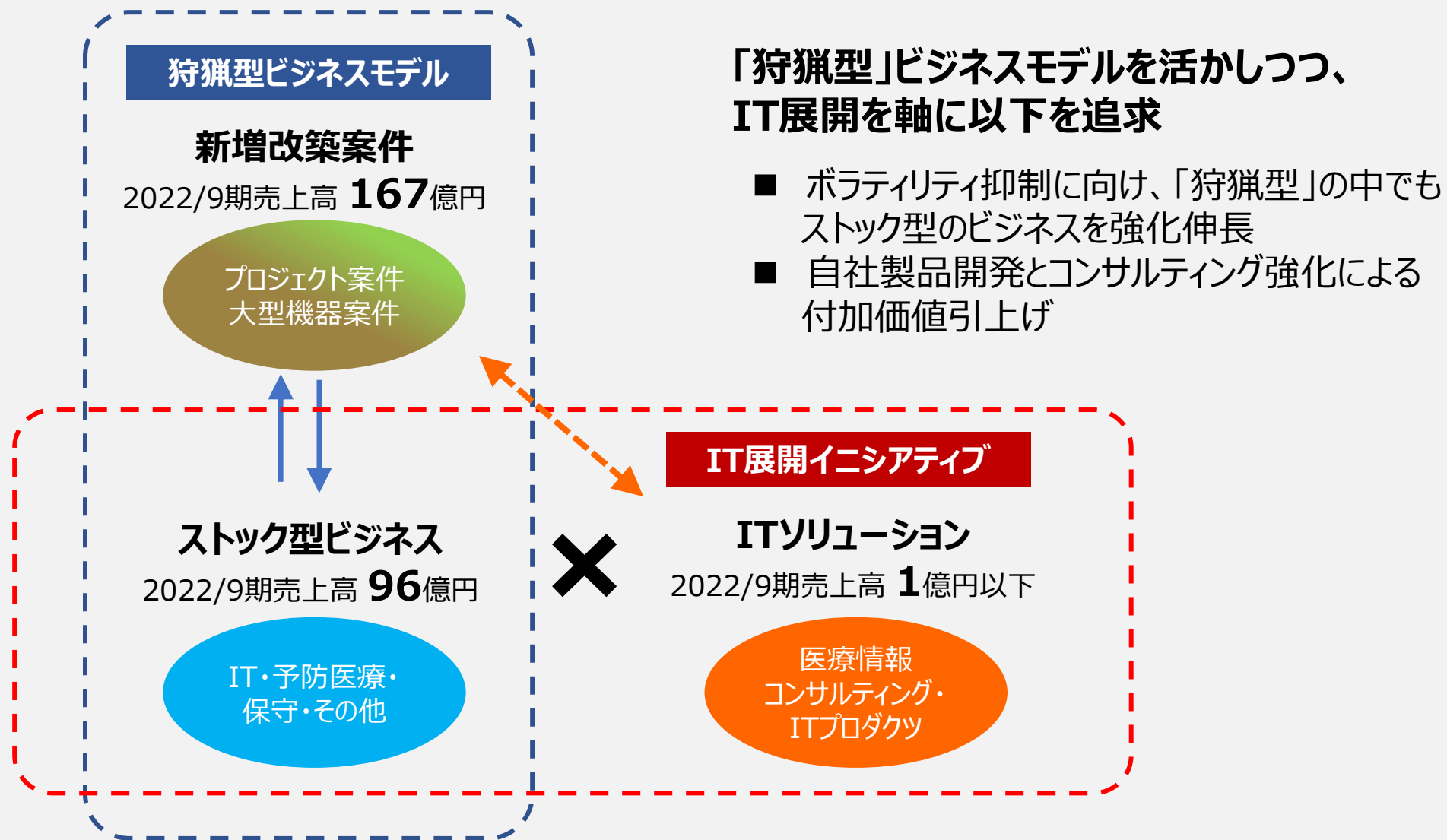


これから：「狩猟型」ながら、ボラティリティの抑制された ビジネスモデルを確立

これまでの利点を活かしつつ、弱点の緩和・克服を追求

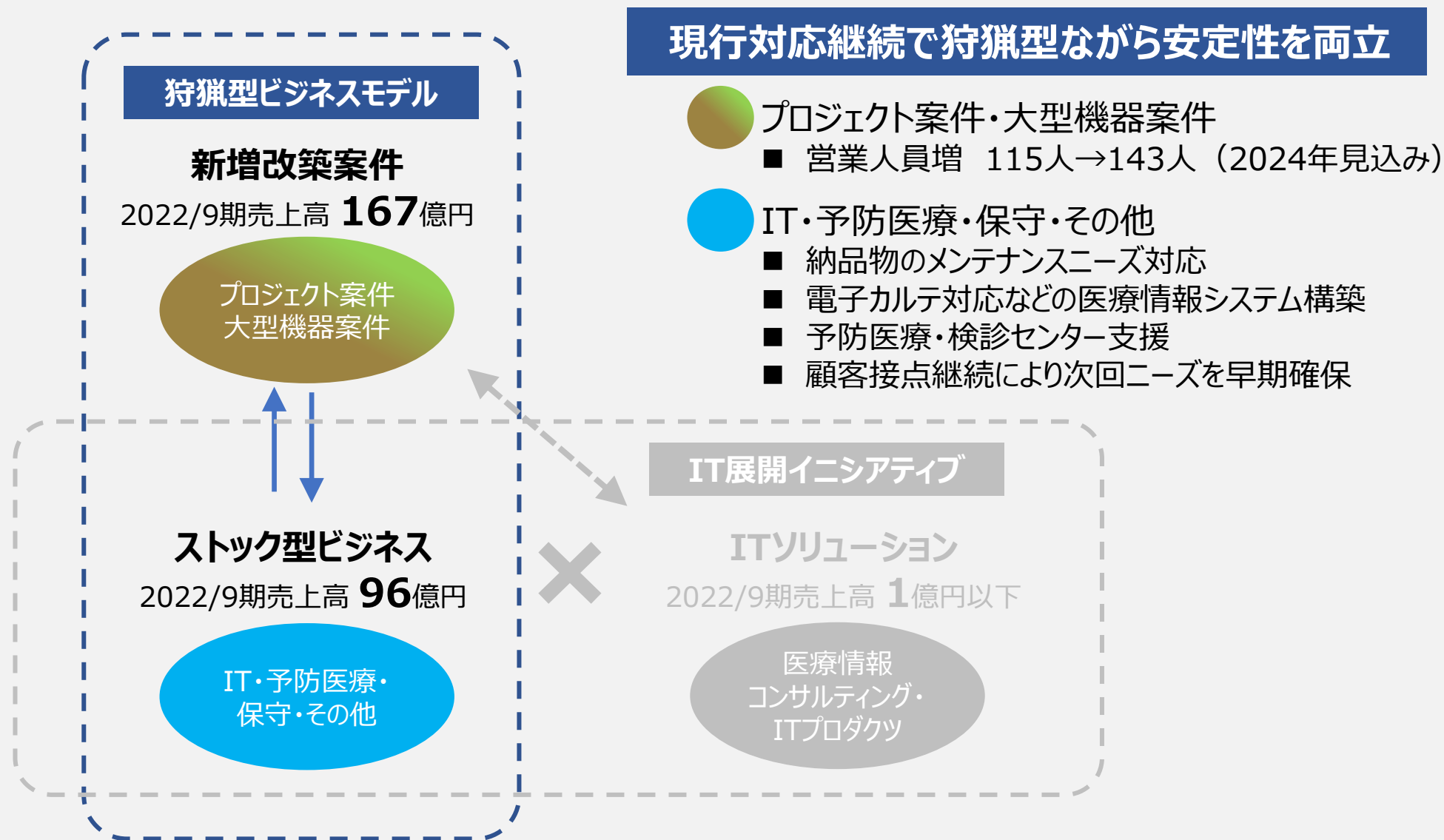


メディカルトータルソリューション事業 中期成長シナリオ



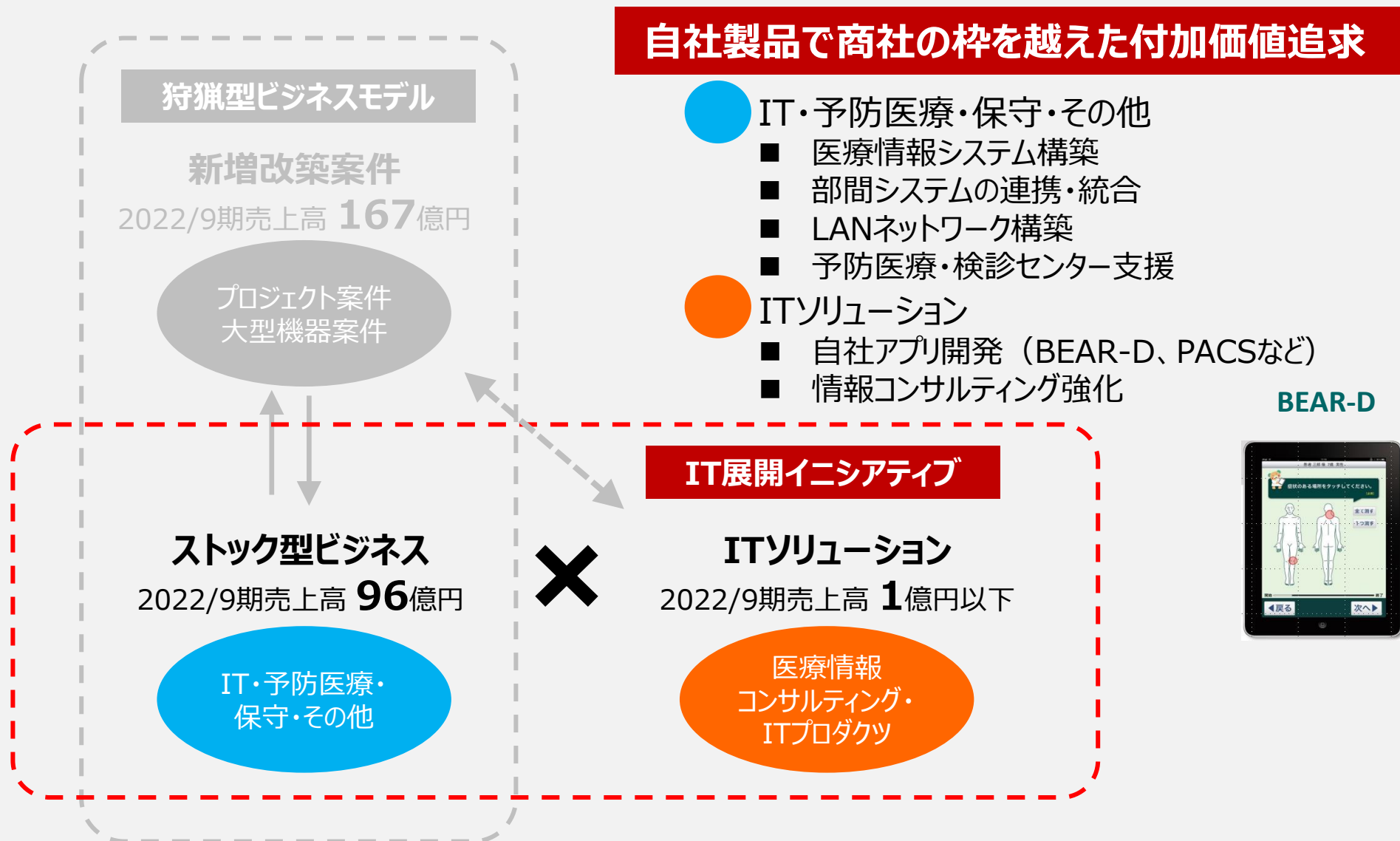


新增改築案件の深掘/確保



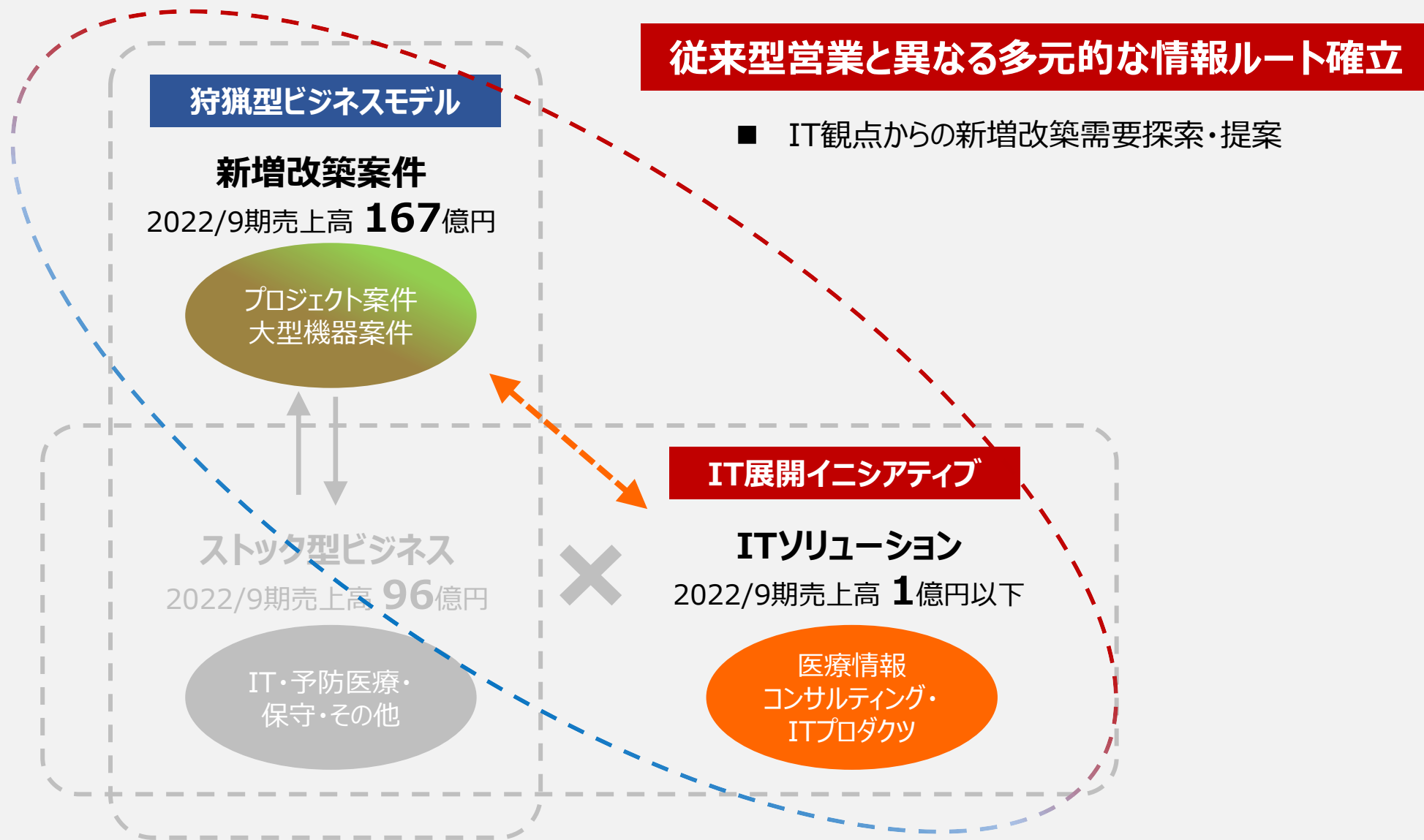


ITソリューション事業の立ち上げ





多元的な情報ルート確立

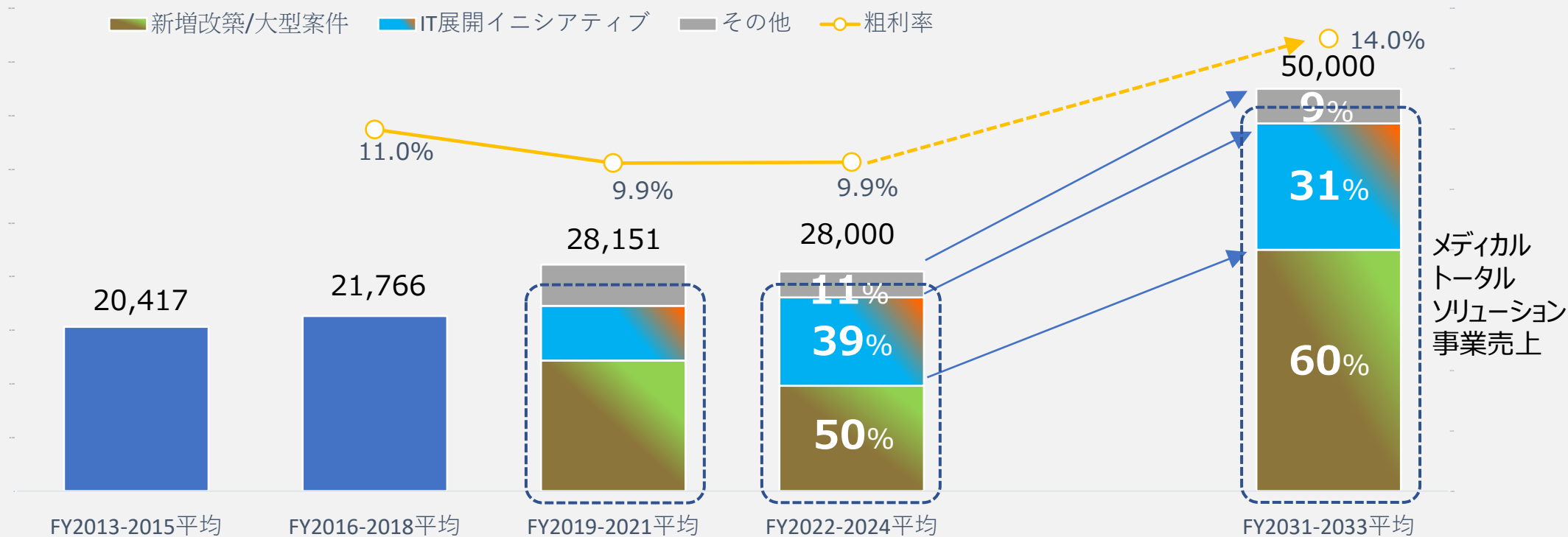




全社売上推移

- 高ボラティリティで経験的に3年周期傾向にあるメディカルトータルソリューション事業では単年でなく複数年で傾向を捉えるべき。2030年度頃を目途に、3カ年平均で全社売上を現状の倍となる年500億円程度まで引上げを目指す
- 2030年頃の全社売上に占める新增改築/大型案件の比率は約6割程度を想定。IT展開イニシアティブをテコに獲得案件の拡大加速を図る。IT展開イニシアティブ領域では自社開発品などで付加価値を引上げ、全社粗利率上昇の牽引役として期待

メディカルトータルソリューション事業売上内訳および粗利率の推移

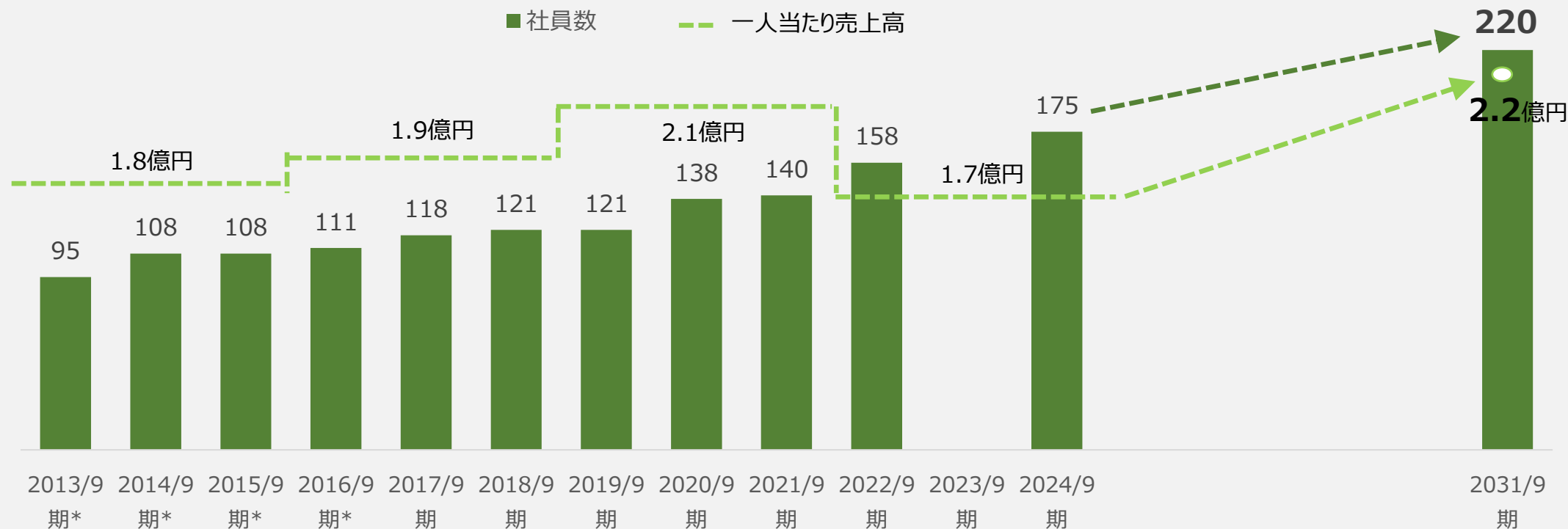




メディカルトータルソリューション事業 生産性推移

- メディカルトータルソリューション事業従業員における一人当たり売上高は、現在1.7億円程度。新人投入の加速から一旦低下のリスクも許容し、長期的には過去最高の2.2億円程度まで生産性を引き上げる
- 生産性引上げには、狩猟型営業スキル教育に加え、IT展開イニシアティブによる案件獲得数の底上げ効果を想定
- 同時に、事業従業員数も220名程度まで拡大し、売上高500億円レベルを実現する見通し

メディカルトータルソリューション事業の従業員数*と一人当たり売上推移



*従業員数 = 正社員数 + 契約者真数 + 嘱託社員数と定義



業績・財務ハイライト

決算年月		2017年9月	2018年9月	2019年9月	2020年9月期	2021年9月期	2022年9月期
売上高	(千円)	19,060,958	25,715,941	36,109,029	21,996,890	26,347,156	29,767,431
経常利益	(千円)	28,463	652,381	1,184,035	207,244	595,939	709,660
親会社株主に帰属する当期純利益	(千円)	242,509	357,645	732,959	120,839	390,983	437,051
包括利益	(千円)	290,524	396,399	735,628	141,111	427,266	467,209
資本金	(千円)	123,000	331,507	331,507	536,169	539,369	539,369
発行済株式総数(自己株式を含む)	(株)	4,920	1,784,000	1,784,000	1,954,400	1,960,800	1,960,800
純資産額	(千円)	2,905,240	3,682,163	4,340,511	4,817,569	5,159,691	5,537,971
総資産額	(千円)	12,047,141	12,875,910	12,814,634	13,414,303	12,964,840	13,468,183
1株当たり純資産額**	(円)	2,870.05	2,016.04	2,376.58	2,408.78	2,567.33	2,746.25
1株当たり配当額	(円)	4,000	40.0	40.0	45.0	40.0	50.0
1株当たり当期純利益**	(円)	246.95	323.64	411.31	62.51	199.92	222.90
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	(円)	—	—	—	61.85	198.33	221.52
自己資本比率	(%)	23.4	27.9	33.0	35.1	38.8	40.0
自己資本利益率	(%)	9.0	11.2	18.7	2.7	8.0	8.4
配当性向**	(%)	8.1	12.4	9.7	72.0	20.0	22.4
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	▲718,460	962,625	2,764,536	▲1,906,273	1,298,076	242,357
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	107,722	▲52,847	▲91,784	▲63,598	▲42,129	▲49,958
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	▲7,334	203,275	▲213,022	238,372	▲298,007	▲120,931
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)	2,589,499	3,702,552	6,162,281	4,430,782	5,388,721	5,460,189
従業員数	(人)	147	153	155	157	162	175
(外、平均臨時雇用者数)	(人)	(37)	(38)	(39)	(54)	(58)	(62)

*通期換算ベース **2018年9月13日付株式分割(1:200)後の発行済み株式数基準



ご留意事項

当資料は、当社の現状をご理解いただくことを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料に記載されている内容は、当資料発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断される一定の前提に基づく計画、期待、判断を根拠としております。したがって、実際の業績等は、経済情勢等様々な不確定要素の変動によって、記載の業績予想等と異なる結果になる可能性があります。実際に投資を行う際のご決定は、必ず投資家ご自身の判断に基づきなされるようお願いいたします。

株式会社レオクラン
経営企画室 IR担当
TEL : 06-6387-1554
Email : ir-support@leoclan.co.jp